

# 調査要項

## 1 調査趣旨

この調査は、商工会地域の企業活動状況を把握するため、独立行政法人中小企業基盤整備機構の委託を受け全国商工会連合会が実施するもので、本会はこれら貴重な景況情報を「山口県商工会地域中小企業景況調査報告書」としてまとめ、商工会の経営改善普及事業の効果的実施に資することを目的とする。（年4回発行）

## 2 調査対象地区及び対象企業等

- (1) 全国商工会連合会により指定された582地区の商工会のうち、山口県は10商工会 150企業を調査対象として指定する。
- (2) 調査対象区域は地域人口等に配慮し、県東部・中部・西部・北部地域の商工会とし、製造業及び建設業は従業員20名以下、小売業及びサービス業は従業員5名以下の企業規模を対象とする。
- (3) 調査対象企業は、1商工会地域につき15企業とし、業種は製造業、建設業、小売業及びサービス業（サービス業は飲食店、宿泊業、洗濯業、理美容その他のサービス）の4種類とする。

## 3 調査対象期間及び調査時点等

- ・調査対象期間及び調査内容は2019年4－6月期における前期及び前年同期に対する景況感（現況）と来期（2019年7－9月期）における景況見通しを調査した。
- ・調査は2019年5月24日から6月1日の期間に実施した。
- ・調査方法は商工会経営指導員による聴き取りでおこなった。

## 4 回答企業数内訳

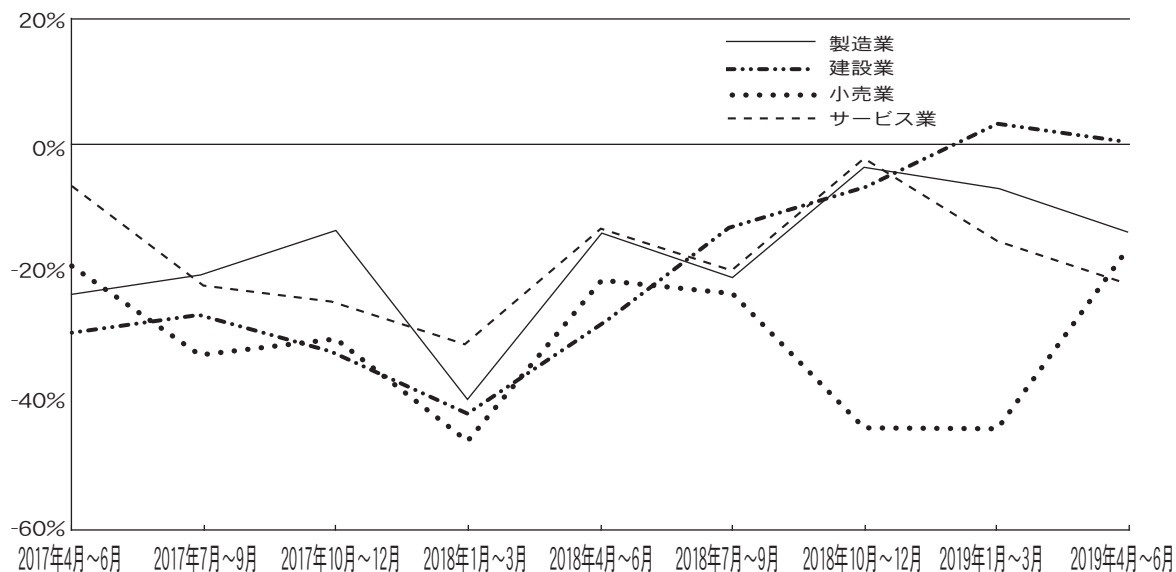
| 業種    | 対象企業 | 構成比    | 回答企業 | 回答     |
|-------|------|--------|------|--------|
| 製造業   | 29   | 19.3%  | 29   | 100.0% |
| 建設業   | 32   | 21.4%  | 32   | 100.0% |
| 小売業   | 43   | 28.7%  | 43   | 100.0% |
| サービス業 | 46   | 30.6%  | 46   | 100.0% |
| 合計    | 150  | 100.0% | 150  | —      |

## 5 業況判断指標

景況を示す業況判断指標は、Diffusion Index(DI)を用いた。DIは、前年同期（基準）に対する変化の方向については、上昇(好転)とする回答割合から低下(悪化)とする回答割合を差引いた数値で、「変化の趨勢を示す指標」として用いられている。※DIがプラスの場合は「強気・楽観」傾向つまり上昇機運にあるとされ、マイナスの場合は「弱気・悲観」傾向つまり低下機運にあるとされている。また、プラス・マイナスが同数(DIゼロ)の場合は変化がないことを示す。

# 1 山口県 全産業

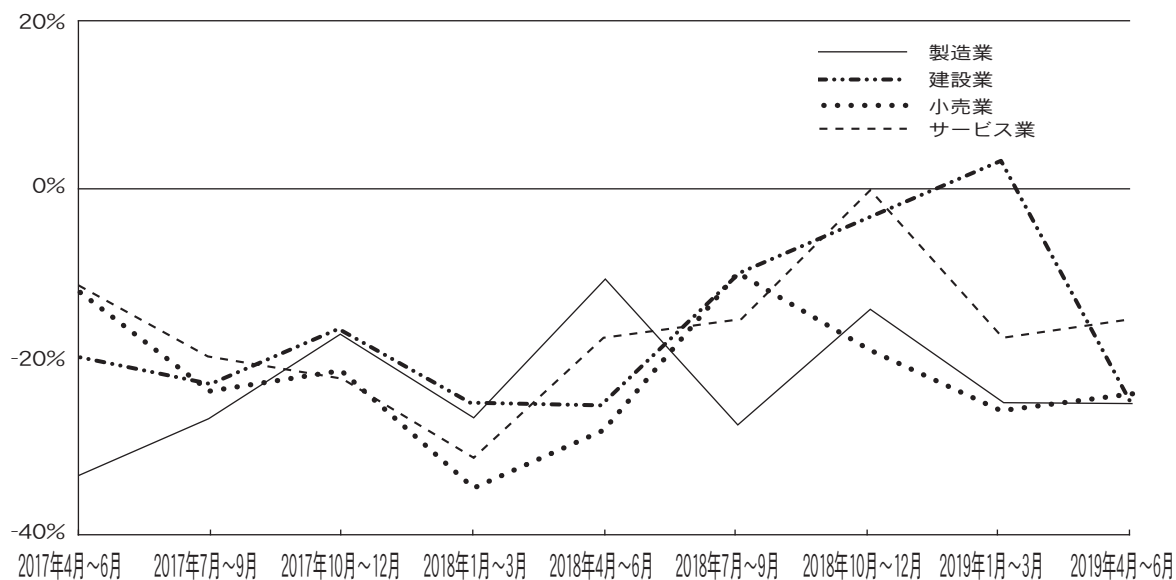
## 1 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



**D I 値** 製造業－13.8(前期は－6.9、前年同期は－13.8)、建設業 0.0(前期は 3.2、前年同期は－28.1)、小売業－16.2(前期は－44.1、前年同期は－20.9)、サービス業－21.7(前期は－15.2、前年同期は－13.0)

**業況D I 値** 製造業－27.6(前期は－24.1、前年同期は－13.8)、建設業 －15.6(前期は－6.5、前年同期は－12.5)、小売業－21.4(前期は－27.9、前年同期は－23.2)、サービス業－13.0(前期は－15.2、前年同期は－19.6)

## 2 採算の推移－前年同期比－

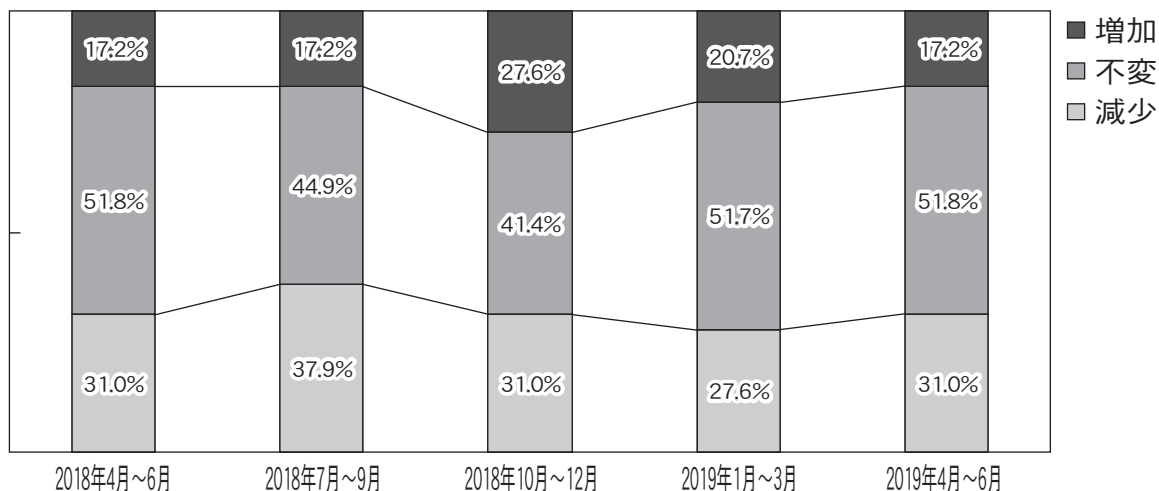


**D I 値** 製造業－25.0(前期は－25.0、前年同期は－10.3)、建設業－25.0(前期は 3.1、前年同期は－25.0)、小売業－23.9(前期は－25.6、前年同期は－27.9)、サービス業－15.2(前期は－17.4、前年同期は－17.4)

**資金繰りD I 値** 製造業－20.0(前期は－20.0、前年同期は－20.0)、建設業－18.8(前期は 3.3、前年同期は－6.5)、小売業－11.9(前期は－16.3、前年同期は－16.3)、サービス業－10.9(前期は－13.1、前年同期は－15.3)

## 2 山口県 製造業

### 1 売上額の状況－前年同期比－

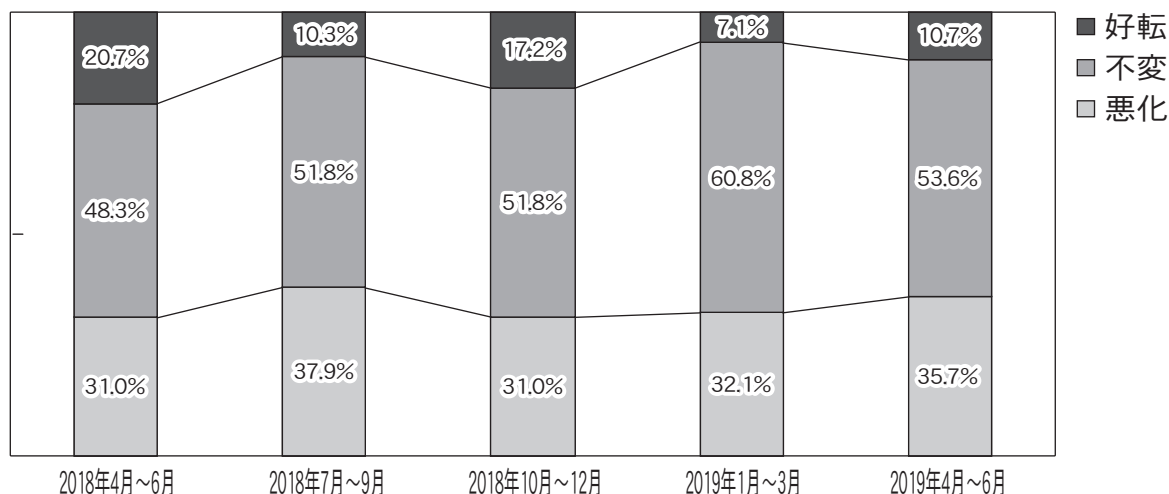


**前期と比較** 「増加」22.2%（前期は 17.2%、前年同期は 20.7%）、「不変」48.2%（前期は 37.9%、前年同期は 51.7%）、「減少」29.6%（前期は 44.9%、前年同期は 27.6%）

**来期見通し** 「好転」13.8%（前期は 13.8%、前年同期は 10.0%）、「不変」65.5%（前期は 55.2%、前年同期は 53.3%）、「悪化」20.7%（前期は 31.0%、前年同期は 36.7%）

**その他のD I 値** 原材料在庫数量－14.3（前期は－7.1、前年同期は－17.9）、製品在庫数量－10.7（前期は－7.2、前年同期は－10.7）、売上単価 0.0（前期は 3.5、前年同期は－6.9）、売上数量－13.8（前期は－10.4、前年同期は－20.7）

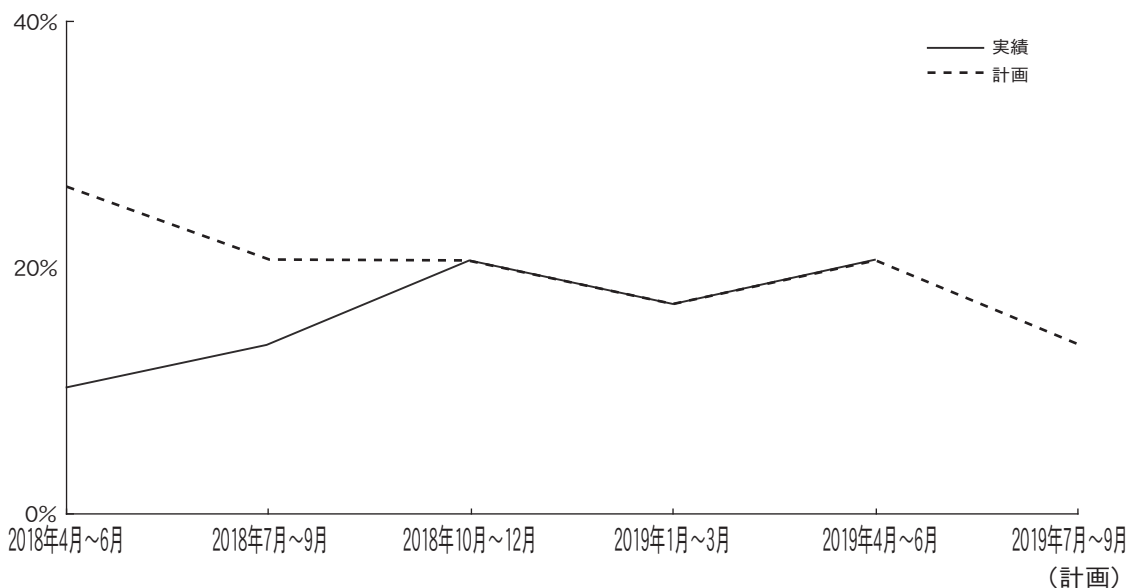
### 2 採算の状況－前年同期比－



**来期見通し** 「好転」10.3%（前期は 6.9%、前年同期は 3.3%）、「不変」62.1%（前期は 62.1%、前年同期は 73.4%）、「悪化」27.6%（前期は 31.0%、前年同期は 23.3%）

**資金繰り** 前期と比較で、「好転」6.7%（前期は 3.3%、前年同期は 10.0%）、「不変」73.3%（前期は 76.7%、前年同期は 70.0%）、「悪化」20.0%（前期は 20.0%、前年同期は 20.0%）  
来期見通しは、「好転」3.3%（前期は 3.3%、前年同期は 3.2%）、「不変」70.0%（前期は 73.4%、前年同期は 71.0%）、「悪化」26.7%（前期は 23.3%、前年同期は 25.8%）

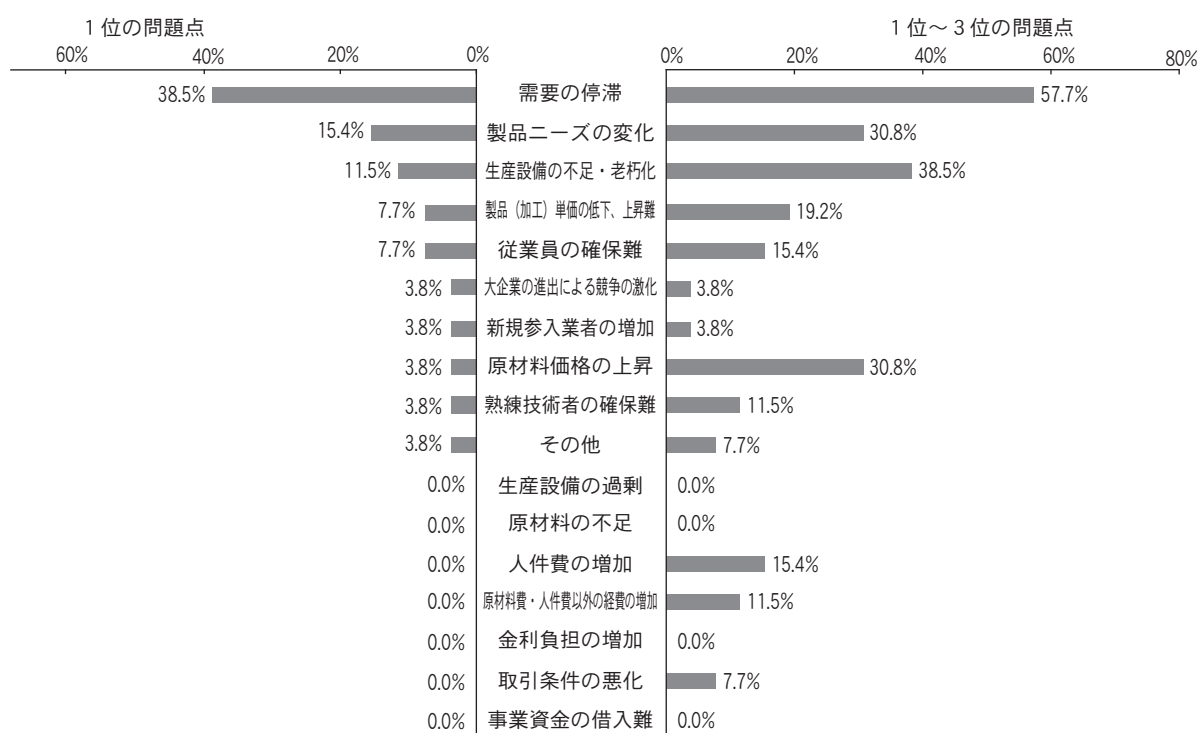
### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業6社(土地1、工場建物1、生産設備3、OA機器1)、実施しなかった企業23社。来期に設備投資を予定している企業4社(工場建物1、生産設備1、OA機器1、福利厚生施設1)、予定していない企業25社。

設備操業率D I値は、-17.2(前期は-10.7、前年同期は-6.9)

### 4 経営上の問題点の状況 (1位と1~3位)

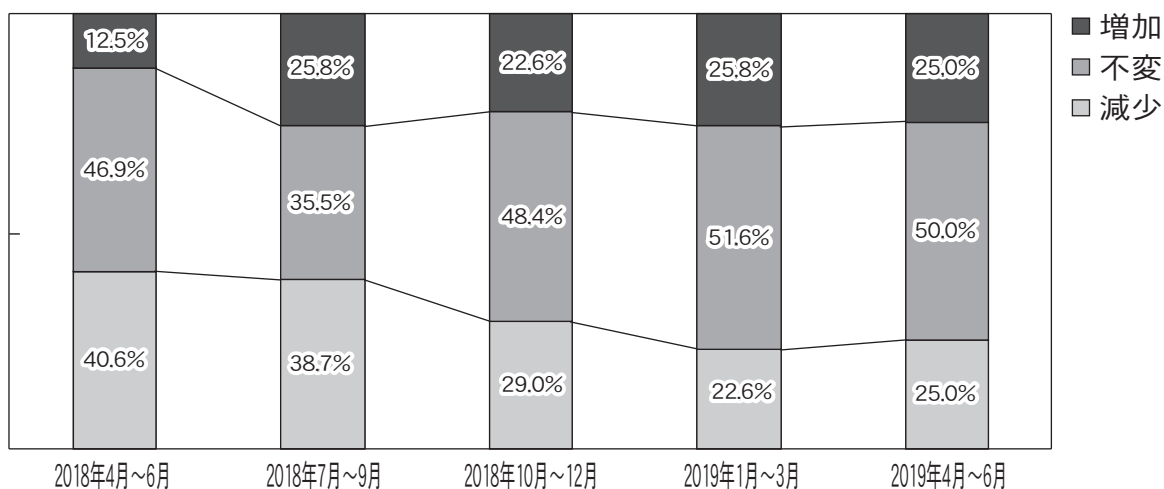


「原材料価格の上昇」・「生産設備の不足・老朽化」の割合が減少し、「需要の停滞」・「製品(加工)単価の低下、上昇難」が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」3.7%(前期3.7%、前年同期は3.6%)、「不変」92.6%(前期は85.2%、前年同期は92.8%)、「悪化」3.7%(前期は11.1%、前年同期は3.6%)

### 3 山口県 建設業

#### 1 完成工事額の状況－前年同期比－

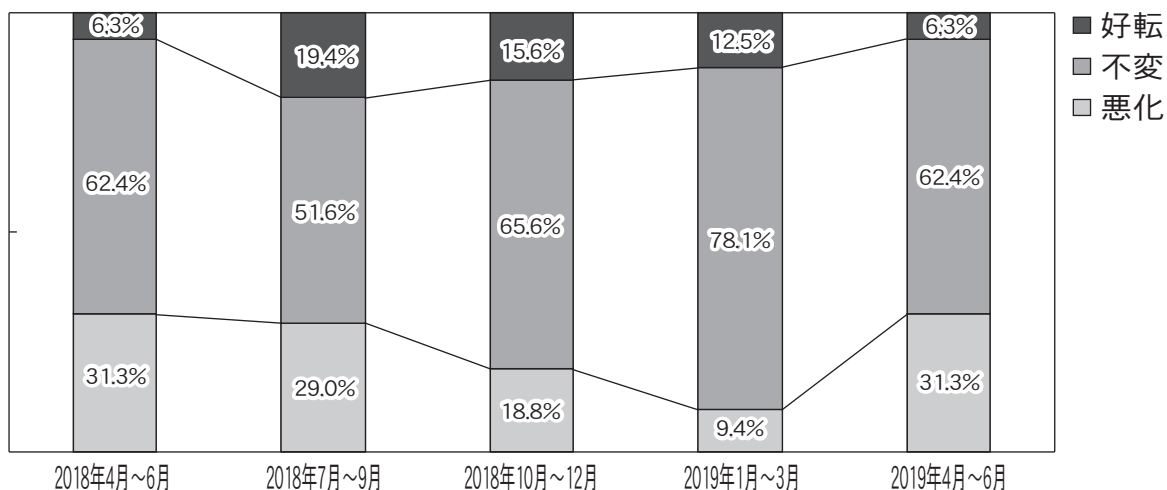


**前期と比較** 「増加」22.6%（前期は 17.9%、前年同期は 25.8%）、「不変」61.3%（前期は 50.0%、前年同期は 35.5%）、「減少」16.1%（前期は 32.1%、前年同期は 38.7%）

**来期見通し** 「好転」22.6%（前期は 6.3%、前年同期は 9.4%）、「不変」54.8%（前期は 68.7%、前年同期は 50.0%）、「悪化」22.6%（前期は 25.0%、前年同期は 40.6%）

**その他のDI値** 新規契約工事額－24.9（前期は 12.5、前年同期は－29.9）、材料仕入単価 34.4（前期は 45.2、前年同期は 31.3）

#### 2 採算の状況－前年同期比－

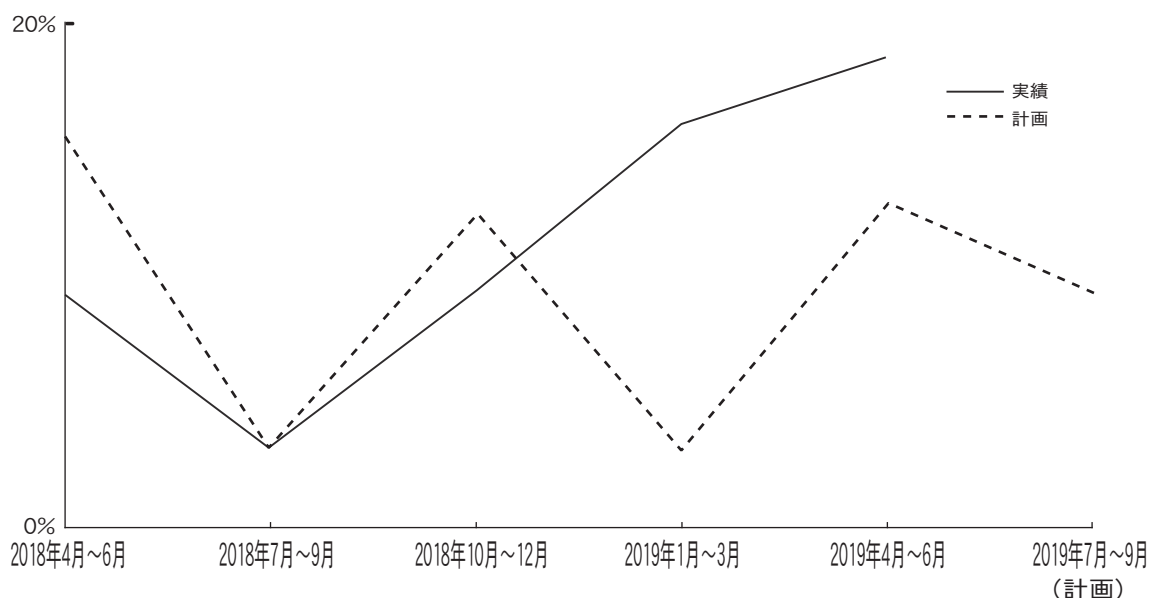


**来期見通し** 「好転」6.3%（前期は 3.1%、前年同期は 3.1%）、「不変」81.2%（前期は 78.1%、前年同期は 68.8%）、「悪化」12.5%（前期は 18.8%、前年同期は 28.1%）

**資金繰り** 前期と比較で、「好転」3.1%（前期は 7.1%、前年同期は 10.3%）、「不変」78.1%（前期は 75.0%、前年同期は 65.6%）、「悪化」18.8%（前期は 17.9%、前年同期は 24.1%）

**来期見通し**は、「好転」6.7%（前期は 6.3%、前年同期は 6.3%）、「不変」80.0%（前期は 78.1%、前年同期は 68.7%）、「悪化」13.3%（前期は 15.6%、前年同期は 25.0%）

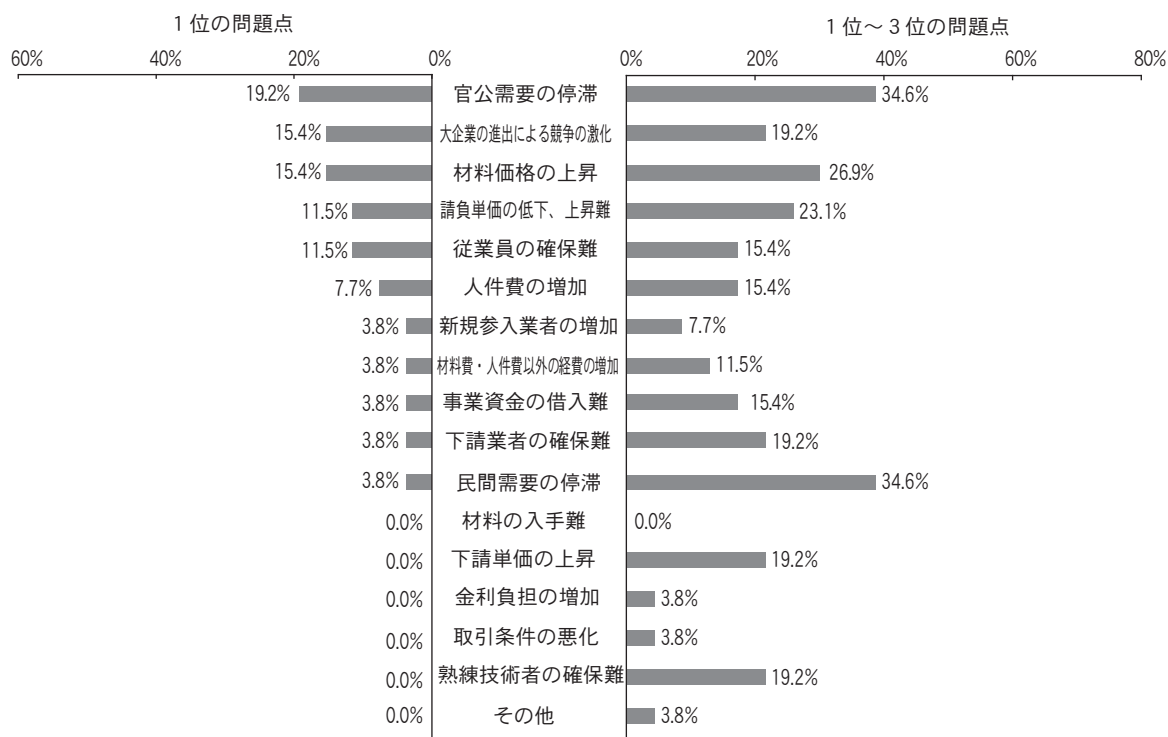
### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業6社(建設機械2、車両・運搬具3、その他1)、実施しなかった企業26社。来期に設備投資を予定している企業3社(建設機械1、車両・運搬具2)、予定していない企業29社。

引合いD I 値 -13.8 (前期は-3.5、前年同期は-16.7)

### 4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)

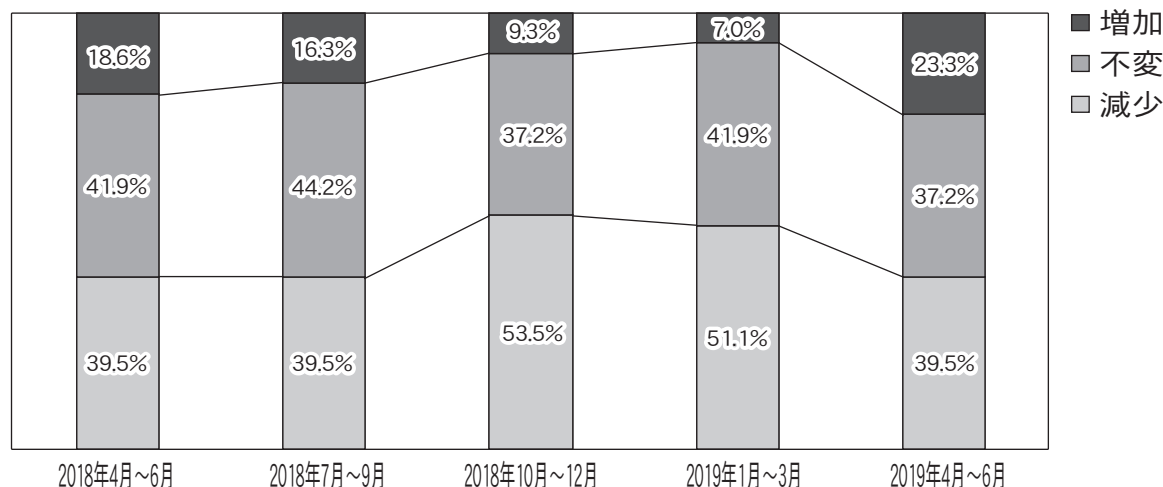


「民間需要の停滞」・「材料価格の上昇」の割合が減少し、「大企業の進出による競争の激化」・「官公需要の停滞」が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」10.7% (前期は 11.1%、前年同期は 11.1%)、「不変」85.7% (前期は 81.5%、前年同期は 81.5%)、「悪化」3.6% (前期は 7.4%、前年同期は 7.4%)

## 4 山口県 小売業

### 1 売上額の状況－前年同期比－

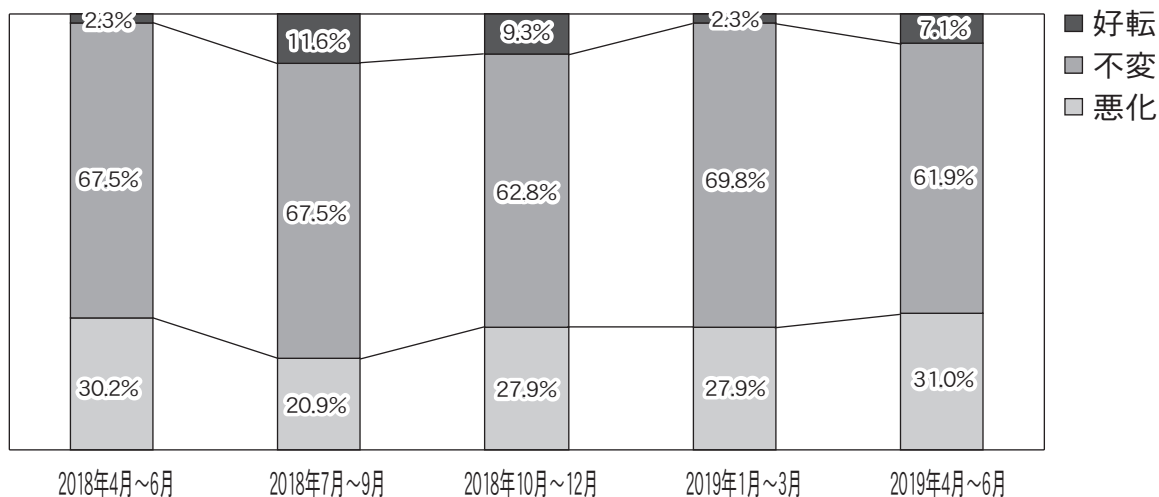


**前期と比較** 「増加」37.2%（前期は 11.6%、前年同期は 31.0%）、「不変」25.6%（前期は 44.2%、前年同期 38.0%）、「減少」37.2%（前期は 44.2%、前年同期は 31.0%）

**来期見通し** 「好転」7.0%（前期は 7.1%、前年同期は 9.3%）、「不変」44.2%（前期は 47.7%、前年同期は 41.9%）、「悪化」48.8%（前期は 45.2%、前年同期は 48.8%）

**その他のD I 値** 客単価－9.3（前期は－32.6、前年同期は－7.0）、客数－44.1（前期は－46.5、前年同期－39.5）、商品仕入単価 27.9（前期は 0.0、前年同期は 4.6）

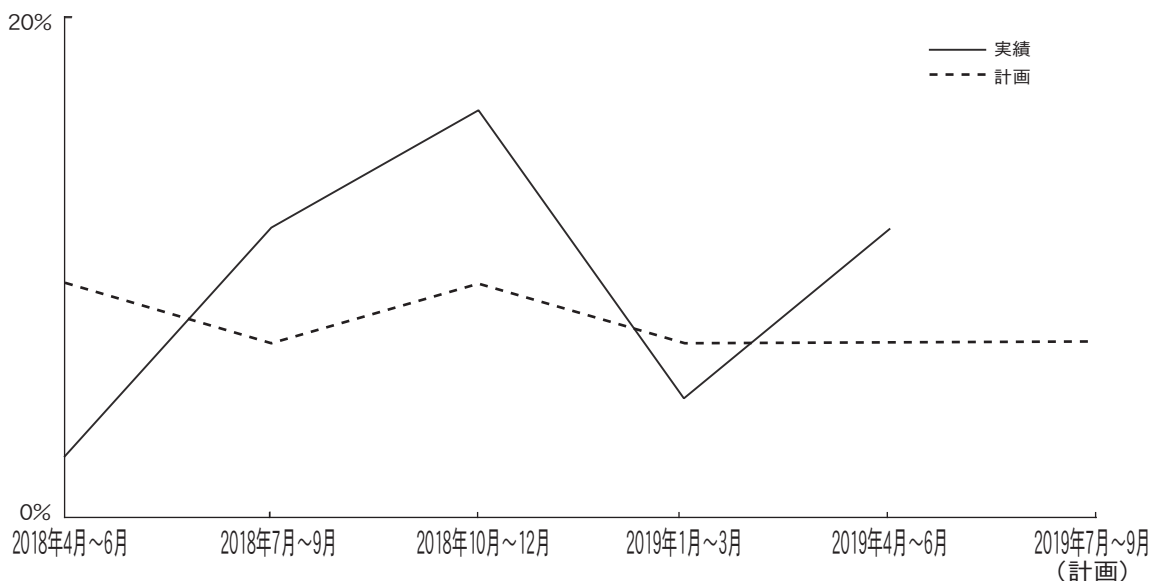
### 2 採算の状況－前年同期比－



**来期見通し** 「好転」4.8%（前期は 2.4%、前年同期は 2.3%）、「不変」64.2%（前期は 66.6%、前年同期は 67.5%）、「悪化」31.0%（前期は 31.0%、前年同期は 30.2%）

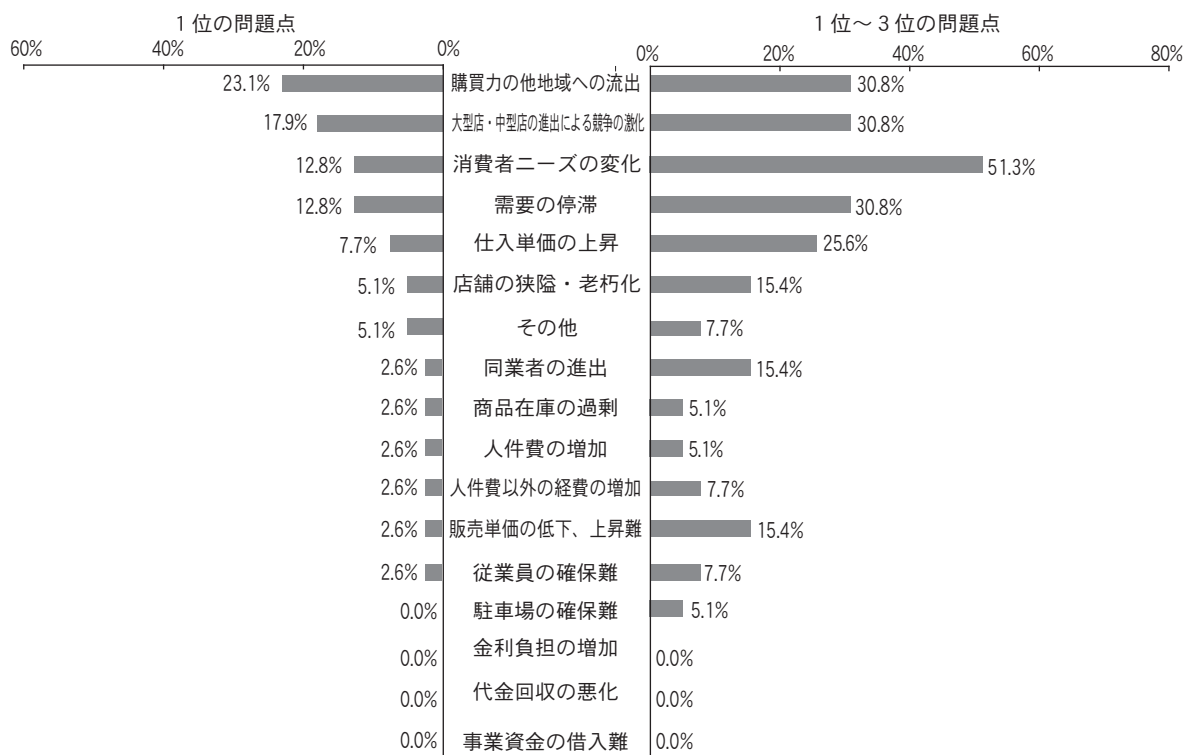
**資金繰り** 前期と比較で、「好転」2.4%（前期は 0.0%、前年同期は 0.0%）、「不変」80.9%（前期は 83.3%、前年同期は 81.0%）、「悪化」16.7%（前期は 16.7%、前年同期は 19.0%）  
**来期見通し**は、「好転」2.3%（前期は 0.0%、前年同期は 0.0%）、「不変」74.4%（前期は 78.0%、前年同期は 76.7%）、「悪化」23.3%（前期は 22.0%、前年同期は 23.3%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業5社(販売設備1、車両・運搬具1、付帯施設1、OA機器1、その他1)、実施しなかった企業38社。来期に設備投資を予定している企業3社(販売設備1、OA機器1、その他1)、予定していない企業40社。

### 4 経営上の問題点の状況 (1位と1位~3位)



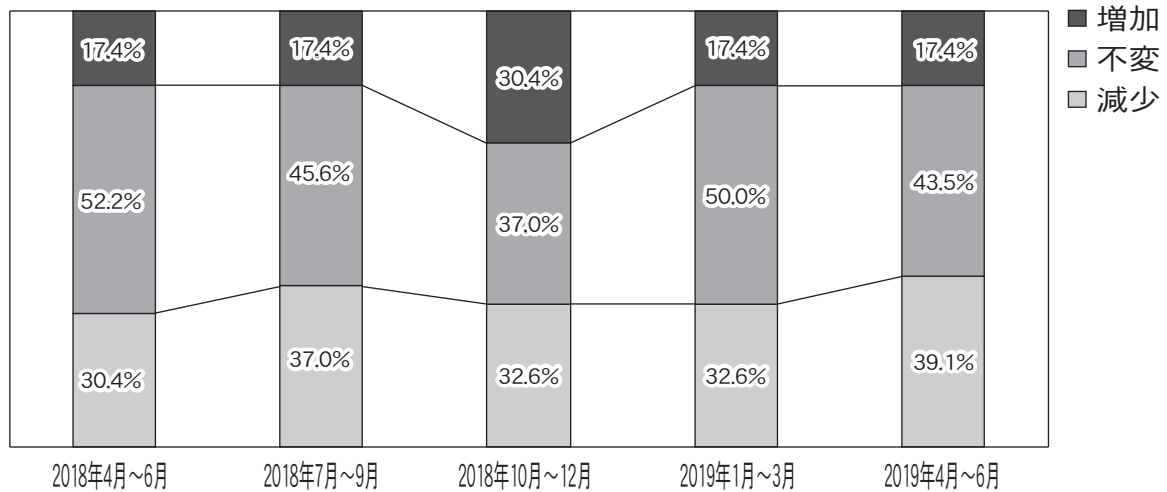
「購買力の他地域への流出」・「消費者ニーズの変化」の割合が減少し、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」3.3% (前期は 0.0%、前年同期は 0.0%)、「不変」90.0% (前期は 93.5%、前年同期は 91.2%)、「悪化」6.7% (前期は 6.5%、前年同期は 8.8%)



## 5 山口県 サービス業

### 1 売上額の状況－前年同期比－

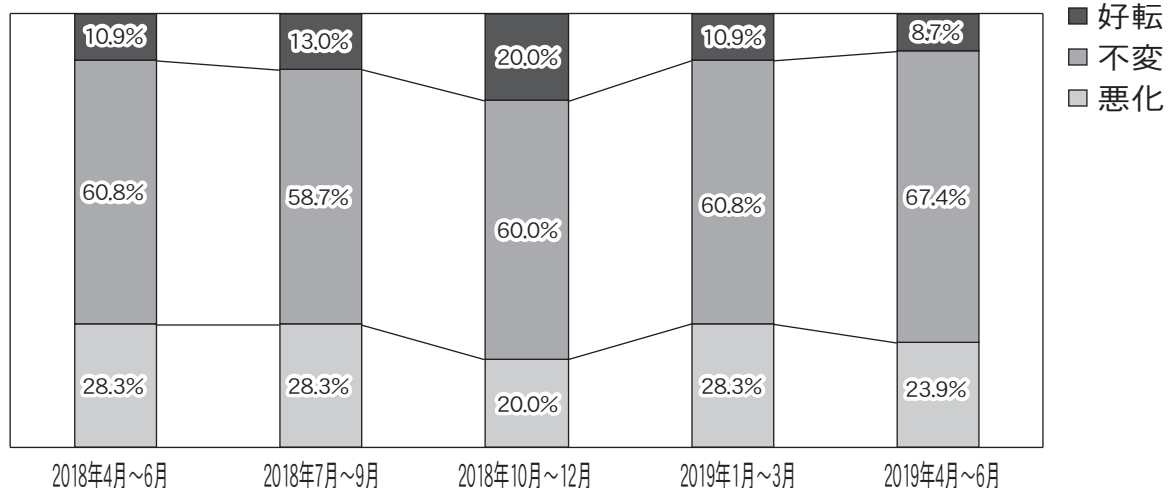


**前期と比較** 「増加」34.8%（前期は 19.6%、前年同期は 34.8%）、「不変」43.5%（前期は 43.4%、前年同期は 41.3%）、「減少」21.7%（前期は 37.0%、前年同期は 23.9%）

**来期見通し** 「好転」15.2%（前期は 8.7%、前年同期は 11.4%）、「不変」56.5%（前期は 65.2%、前年同期は 54.5%）、「悪化」28.3%（前期は 26.1%、前年同期は 34.1%）

**その他のD I 値** 客単価－4.4（前期は 0.0、前年同期は－13.1）、利用客数－23.9（前期は－31.2、前年同期は－24.0）

### 2 採算の状況－前年同期比－

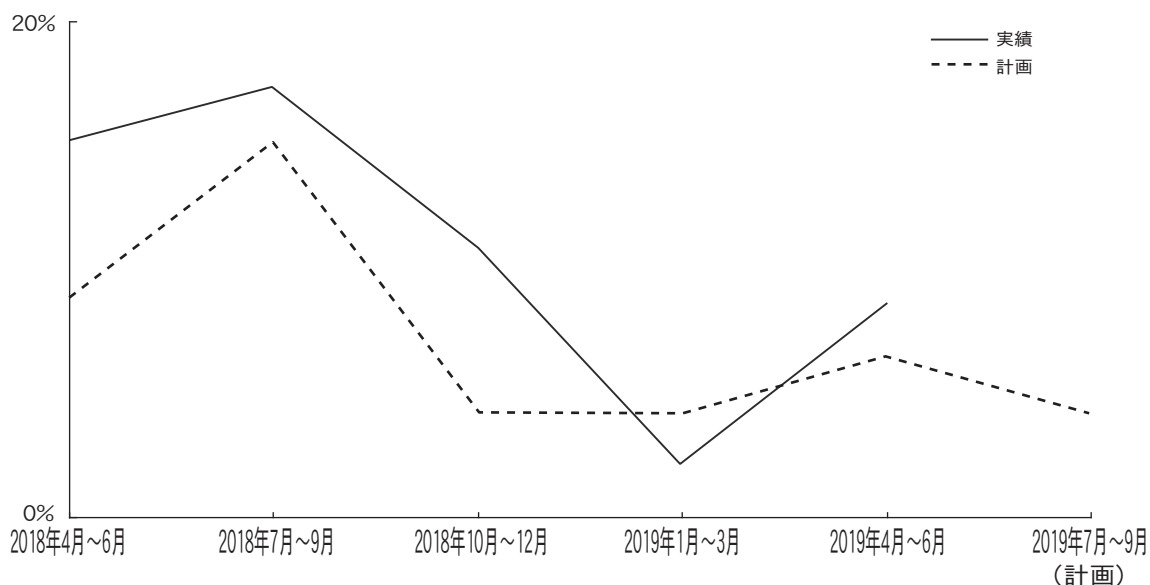


**来期見通し** 「好転」8.7%（前期は 6.7%、前年同期は 4.5%）、「不変」69.6%（前期は 73.3%、前年同期は 68.2%）、「悪化」21.7%（前期は 20.0%、前年同期は 27.3%）

**資金繰り** **前期と比較**で、「好転」8.7%（前期は 8.7%、前年同期は 6.5%）、「不変」76.1%（前期は 73.9%、前年同期は 80.5%）、「悪化」15.2%（前期は 17.4%、前年同期は 13.0%）

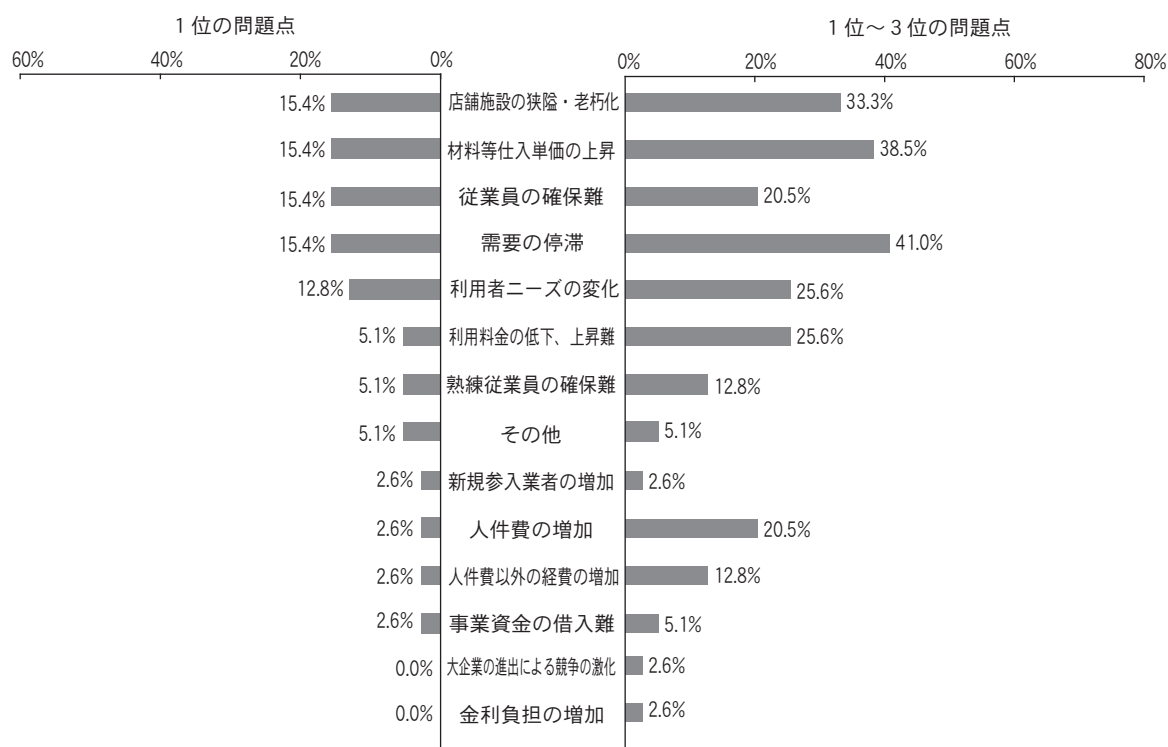
**来期見通し**は、「好転」6.5%（前期は 6.7%、前年同期は 0.0%）、「不変」76.1%（前期は 77.7%、前年同期は 84.1%）、「悪化」17.4%（前期は 15.6%、前年同期は 15.9%）

### 3 設備投資の状況



今期に新規設備投資を実施した企業4社(サービス1、付帯施設2、OA 機器1)、実施しなかった企業42社。来期に設備投資を予定している企業2社(サービス1、付帯施設1)、予定していない企業44社。

### 4 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

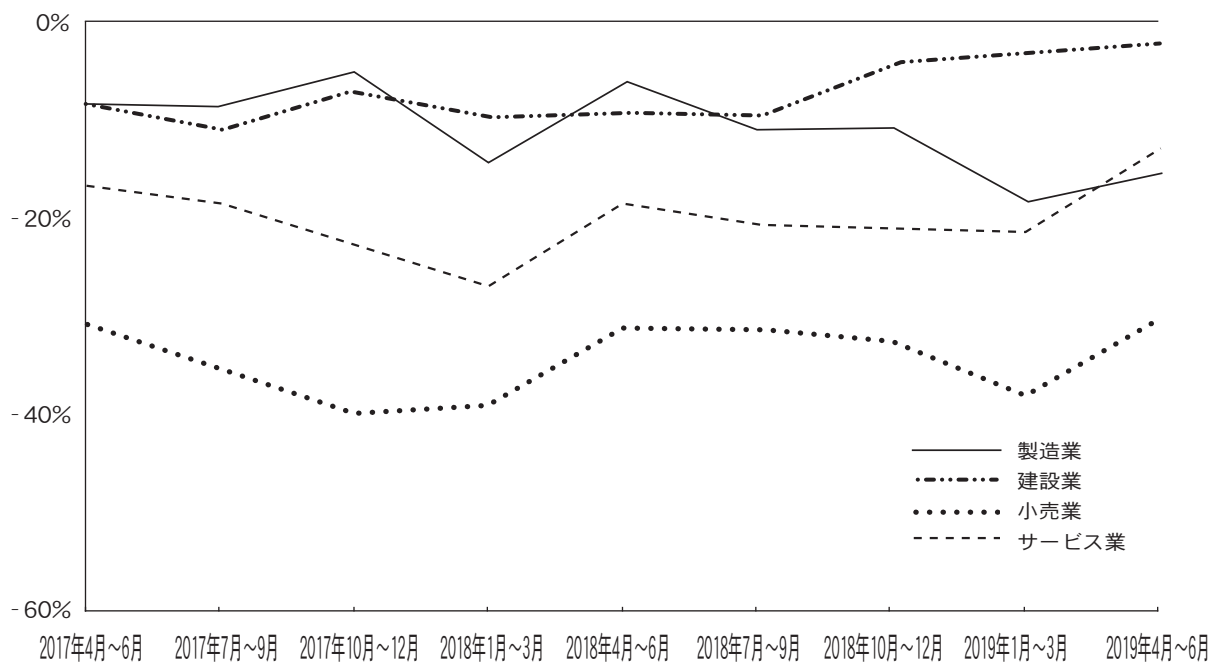


「需要の停滞」・「利用者ニーズの変化」の割合が減少し、「材料等仕入単価の上昇」・「従業員の確保難」が上昇した。

**借入金利** 前期と比較で、「好転」0.0% (前期は 0.0%、前年同期は 0.0%)、「不変」93.7% (前期は 97.0%、前年同期は 100.0%)、「悪化」6.3% (前期は 3.0%、前年同期は 0.0%)

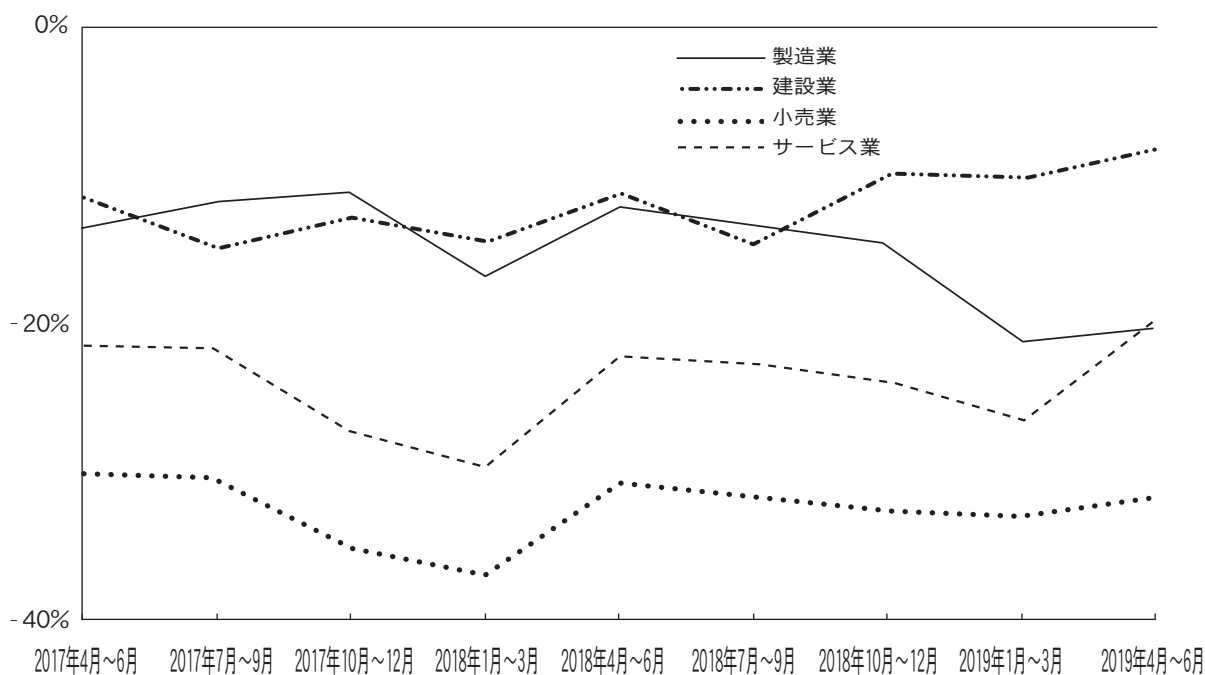
## 6 全国 全産業

### 1 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



D I 値 製造業－15.3(前期は－18.4、前年同期は－5.8)、建設業－2.2(前期は－3.1、前年同期は－9.2)、小売業－29.8(前期は－37.9、前年同期は－31.0)、サービス業－12.8(前期は－21.3、前年同期は－18.3)

### 2 採算の推移－前年同期比－



D I 値 製造業－20.4(前期は－21.1、前年同期は－12.0)、建設業－8.2(前期は－10.0、前年同期は－11.2)、小売業－31.6(前期は－33.0、前年同期は－30.8)、サービス業－19.8(前期は－26.6、前年同期は－22.1)

## 7 山口県 調査対象企業の声

### ■製造業■

- 原材料価格の上昇により、7月より販売価格の値上げをせざるを得ない。
- 3月に年度末の需要があり、一息ついたが、夏にかけて需要が増える見込みがないのと景気が落ち込む不安が増している。消費税が10%になると更に冷え切ってしまうのではないか。
- 大型連休前から売上げがやや下がり気味。若年層に売れている実感が少なく、売上の伸び悩みを感じる。
- 従業員の確保について、新卒とくに大卒者に関して確保が困難である。企業の継続において将来の幹部候補を今後どのようにしていくかという部分において対応中である。
- レトルトにおかれて、なかなか手間暇かけて食べない様子。沢山の子ども達がいればいいと思う。会社がもっとあれば～人も増えるし、活性化すると思う。
- 月別の差はあるが、前期、今期、来期と大きな変化はない。原材料単価は定期的には上昇している。安い材料をいかに仕入れ、使いきるかが利益を左右する。大手企業に押されてはいるが、小規模事業所ならではの工夫が必要。
- 日立関連の受注が、4～5月減少している。6月には回復するかもという話もあるが全く見通しが立たない状況である。
- 設備投資や人件費の増加分を売上や利益増につなげていくことが課題。

### ■建設業■

- 今までと変わらないと思うが先々の予想不能。
- 公共事業が減り、下請け工事ばかりしているので、経費がかかり、売上げは伸びません。
- 請負単価の低迷により利益が出てこない。利益が低下し経営状態の悪化が続く。

○工事の経費が、予定を超える事が多いように思います。市内の会社が減ったりするのも影響して、材料を市外から配達してもらったり、とりに行ったりと現場以外で時間がとられます。仕方ない事ですが、時間を上手く使うのも大事なことで感じます。

○仕事量は増加傾向にありますが、請負単価を上げるのが難しい。

○仕入単価の上昇の影響で利益等の伸び悩み感がある。

○災害応急・復旧や防災・減災工事に伴う需要の高まりは今後も進むものと考えられる一方、業界への入職者の減少や従事者の高齢化により、人手不足はより加速すると予想している。

## ■小売業■

○全然だめ。

○販促により、この時期にしては業績が良かった。

○人口減少、少子化により、消費者の購買力が減少した。

○今後、山口地区で新しいSS出店により、価格の値下げが予想され、収益に大きく影響する。

○人が減ると新聞購読が減る。

○大型スーパーの進出や、高齢者向けの配達サービスが充実しているため、売上の見込みが厳しい状況である。

○今期の増加は特殊事情です。同業者の閉店に伴ない受け皿として当店が売上増となりました。斜陽の業界であっても長らく続けるとこういう事があるのかな、と。引き続き強みを活かしていきたいと思います。

○購売力を強化に努めながら常に健康につながるものを、おいしく提供し、他にない接客で自社の色をかがやかせ、新商品や販路開拓も同時に動きながら時代に合うことに挑戦していきたい。

## ■サービス業■

- 昨年は山口ゆめ花博の開催により好調であったが、その反動が感じられる。
- 冬場の売上減が、年度が変わっても大きく影響をしている。借入で補うのではなく、自力で改善する為にも、上期の取り組みが、非常に大事になってくる。
- 今期は思ったより業況は良かったが、今までの買い控えが限度に達したことからの好転にすぎない。燃料代も高くなってきているので、10月の税率アップがどうひびくか懸念している。
- お客様他から野菜等の差し入れもあり材料の高騰をそのまま売価に反映させずに済んでいるのはありがたい。常連客に対するマンネリ打破をする為にメニューを研究したい。
- 人口減少と高齢化にともない在宅生活支援サービスなど考えています。シニア対応のしくみを考えていかなければなかなか生き残るのがむづかしい世の中になりました。
- 10連休は天候にも恵まれて、大変忙しかったが毎年の事なので比較してみてもあまり変化はない。従業員の高齢化も進み10連勤は出来ないのも途中で店を休んだ、長すぎる休みも対応は難しい。
- 葬儀も法要も地元で行なわなくなった。密葬で葬儀がいつ行なわれたのかも分からない。
- 5月の売上減は自己の手術のためである。
- この状況で消費税が増額されれば増々購買意欲が薄れるのではないかと恐怖感を抱く。
- 6月以降資材上がるため資金繰りが厳しくなる恐れあり。消費増税による客足の変化（減少）が不安。  
4月は、外出が多くなる時期のため、1～3月と比べると、顧客の回転率（来店のスパンが短くなる）が上がる。